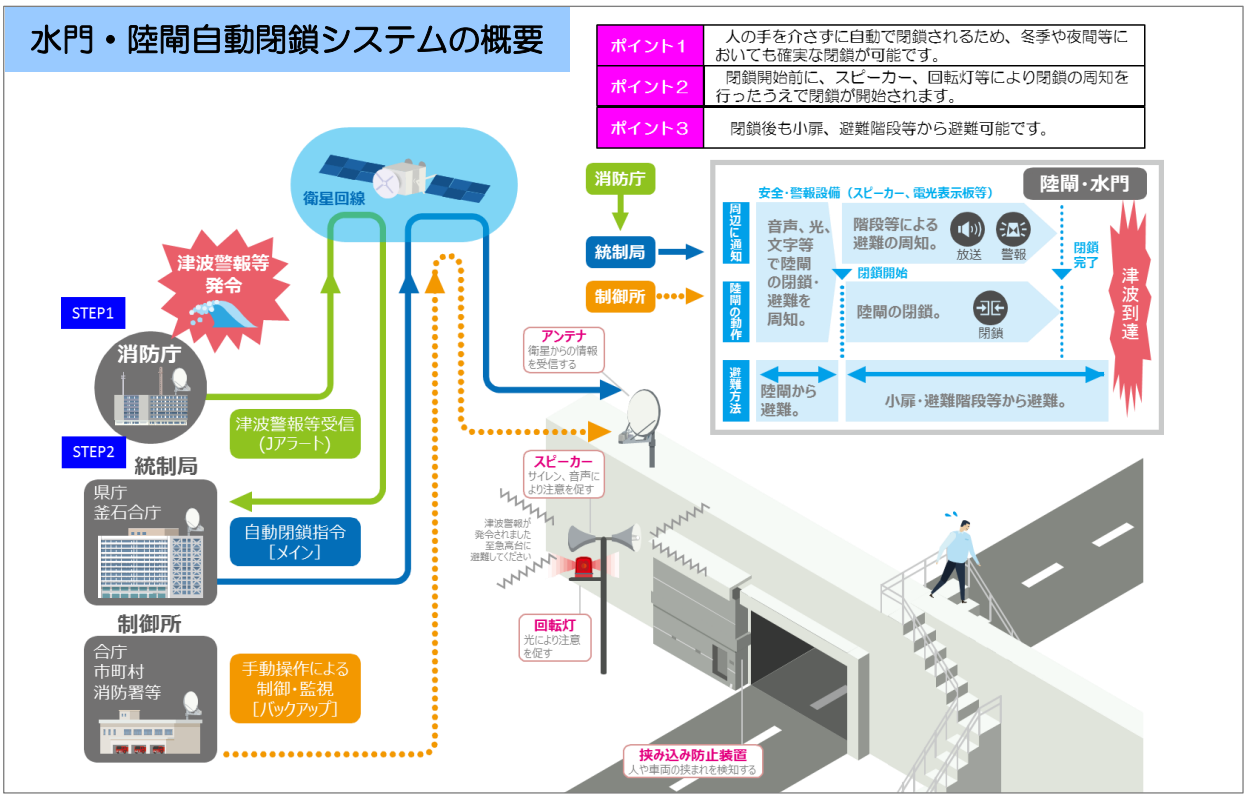
現場ニュース

水門・陸閘（りっこう）自動閉鎖システムの運用を開始！

河川課

宮古市の神林海岸、高浜海岸及び大船渡市の合足（あったり）農地海岸の水門･陸閘 8 基において、県が整備を進めてきた「水門・陸閘自動閉鎖システム」が平成 29 年７月 31 日に運用を開始しました。

当日は、運用を開始する施設のある、宮古市の山口副市長、山下消防団長、大船渡市の戸田市長、新沼消防団長の出席のもと、また、東日本大震災津波発災時から東北地方整備局長として岩手県の復旧･復興にご支援いただいた元国土交通事務次官の徳山氏などが出席し、達増知事と宮古市･大船渡市の消防団長によるＪアラートの模擬信号の送信を契機として水門･陸閘が閉鎖する様子を確認し、達増知事がシステムの運用開始を宣言しました。

今後は、操作員の安全の確保や、沿岸地域の方々の安全・安心の確保が図られるよう、水門・陸閘の工事が完了した箇所から順次、システムを運用する予定です。

左から戸田大船渡市長、達増知事、徳山元国土交通事務次官、山口宮古市副市長